

市長公約（４期目）総括

資料番号2

公約達成の評価＝○（達成済）、△（一部達成）、×（未達成）

令和7年2月現在

項番	取組項目	取組内容	達成状況	総括		所管課
1	市内移住者への支援	定住促進施策として、市外・対象地域外から南部地域等（横山・南横山・旧南松尾校区）の移住者に住宅取得費等の一部を支援する。 ▼支援内容 新築住宅取得支援（100万円）、既存住宅改修支援（最大100万円・改修費用の1/3上限）、移住支援（30万円）、子育て支援（中学生以下のこども1人につき25万円） ▼対象世帯 新築住宅取得支援・既存住宅改修支援・移住支援…若年世帯（夫婦ともに39歳以下の世帯）又は子育て世帯（中学生以下のこどもがいる世帯） 移住支援…子育て世帯	○	（実績）	令和4年度に和泉市南部地域等移住定住支援補助金を創設。 令和5年度までに24件を支援し、81人が移住・定住した。 令和6年度は7件を支援し、28人が移住・定住する見込みである。	広報・協働推進室
				（効果）	南部地域等への若年夫婦世帯および子育て世帯の移住定住を促進したことにより、地域活性化の効果があつた。	
2	窓口手数料などのキャッシュレス化	①窓口における手数料や使用料等の支払いについて、キャッシュレス決済を導入する。	○	（実績）	令和4年10月から主要な証明書を発行する窓口（市民室、税務室）において、証明手数料等の支払いにQRコード決済（PayPay）を導入。 令和6年12月末時点で、市民室の利用率10.7%（本庁11.2%・出張所9.8%）、税務室の利用率6.3%である。	政策企画室
				（効果）	支払方法に新たな選択肢が増えたことにより、市民の利便性が向上したとともに、ICT化の促進に寄与した。 また、レジ業務に係る時間が減少したことにより職員負担の軽減を図る一方で、新たな事務が発生するという側面もある。	※他窓口関係部局
		②市税や保険料の納付方法に、キャッシュレス決済を導入する。	○	（実績）	市税や保険料の納付について、令和4年4月からスマートフォンアプリ等による決済を導入。PayPayやd払い等での納付が可能となった。 【R5年度実績】 ・市税 利用件数：9,942件 利用率：2.1% ・国民健康保険 利用件数：7,380件 利用率：7.7% ・後期高齢者医療保険 利用件数：467件 利用率：2.45% ・介護保険 利用件数：1,484件 利用率：3.3% 【R6年度実績】 ※R6年12月末時点 ・市税 利用件数：12,398件 利用率：2.9% ・国民健康保険 利用件数：6,763件 利用率：9.93% ・後期高齢者医療保険 利用件数：444件 利用率：3.20% ・介護保険 利用件数：1,830件 利用率：5.5%	税務室 保険年金室（国民健康保険） 保険年金室（年金・高齢者医療） 高齢介護室
				（効果）	納付方法に新たな選択肢が増えたことにより、市民の利便性が向上したとともに、ICT化の促進に寄与した。また、自宅からの納付が可能となり、納付環境の改善にもつながった。ただし、今後については共通納税におけるQRコード支払いとの関係を考慮していく必要がある。	
3	スマホなどを活用した電子申請の推進	証明書交付申請、届出、相談等の各種業務について、スマートフォンなどのデジタル機器を用いたオンラインでの電子申請を可能にする。	○	（実績）	令和6年度11月時点で90手続きをオンライン化するとともに、「書かない窓口」の導入により窓口における申請の電子化を行った。令和6年度末には手続きのオンライン化条例を制定し、令和7年度においては更なるオンライン化拡充を目指す予定としている。	政策企画室
				（効果）	オンライン申請の拡充により市民の来庁負担を軽減するとともに、事務処理効率の向上により市民対応の迅速化、市民サービスの品質向上につながった。 【令和5年度末時点のオンライン申請件数上位5手続き】 オンライン申請件数（オンライン申請割合） ・新型コロナウイルスワクチン接種予約：13,654件（20.9%） ・就学援助費受給申請：684件（21.5%） ・国民健康保険の資格喪失届：543件（16.8%） ・軽自動車税に係る障がい減免の継続届出：481件（41.4%） ・和泉市省エネ家電買替促進事業補助金交付申請：441件（64.1%）	

市長公約（４期目）総括

資料番号2

公約達成の評価＝○（達成済）、△（一部達成）、×（未達成）

令和7年2月現在

項番	取組項目	取組内容	達成状況	総括		所管課
4	青色防犯パトロール車の活動支援	令和3年度に、大阪府の「地域見守り力向上事業費補助金」を活用し、ドライブレコーダーを購入し、15団体、青色防犯パトロール車46台に対して、支給する。	○	(実績)	令和2年、令和3年で関係団体に設置希望調査を行い、希望のあった、12団体37台設置完了。 （当初46台予定していたが、8台物品補助で設置、1台車両登録減のため対象が45台となった。）	危機管理課
				(効果)	活動車両に設置したことにより、青色防犯パトロール車の活動支援の強化に繋がった。	
5	町会館等に災害情報の戸別受信機を設置	災害情報を直接届けられる戸別受信機について、①災害時に地域の身近な防災拠点となる町会・自治会館、②避難確保計画を策定している要配慮者施設、③避難に時間を要する避難行動要支援者又はその支援者を対象に設置の拡充を進める。	○	(実績)	災害時に地域の身近な防災拠点となる町会・自治会館へ同報系デジタル防災行政無線戸別受信機を令和5年度までに58箇所、令和6年度は6箇所に設置する見込みで設置総台数231台となる。	危機管理課
				(効果)	災害時必要な気象情報や発災後の支援情報を直接市民に届けることができるようになった。	
6	（仮称）総合防災備蓄センターの整備	備蓄倉庫に備蓄できない大きな備蓄資材や、災害時の支援物資を備蓄、集積できる（仮称）防災備蓄倉庫を整備することにより、市内の避難所にスムーズに配送できる、また簡易な事務所機能を併設することにより災害時当該施設で支援物資の管理、配送指示が出来るようにする。	○	(実績)	旧消防本部を改修して整備する方針を見直し、新築整備することとなったため、運用開始時期に遅れが生じるものの、備蓄品の選定等に関する計画は策定済み。	危機管理課
				(効果)	運用開始時期に遅れが生じるものの、長期間使用できるよう備蓄倉庫の整理を進めることにより、災害時の支援物資を備蓄、集積でき、市内の避難所へのスムーズな配送に寄与するものである。	
7	老人集会所のリニューアル	高齢者等の健康増進を支援するため、居場所づくりとして老人集会所を整備する。	○	(実績)	令和3年度に横山老人集会所、令和6年度に国府老人集会所の建て替えを実施。 令和7年度の（仮称）はつが野老人集会所の新設に向けて設計業務を進めている。	高齢介護室
				(効果)	高齢者の健康増進に資するための居場所の確保が図れている。	
8	高齢者のお出かけ支援の更なる充実 （高齢者おでかけ応援バス等の拡充）	高齢者の外出支援、健康増進及び介護予防を図るため、「おでかけ支援チケット」を高齢者に交付し、高齢者がバス又はタクシーを利用する場合において、利用料金の一部を助成する。	○	(実績)	令和2年度から開始した「おでかけ支援チケット」（1人2,000円分）の配布について、なっちカードの新規作成にあたっては3,000円が必要となることから、令和4年度から助成額を1,000円増額（1人3,000円分）。 利用率は、令和3年度が47.47%だったのが、令和4年度には54.92%、令和5年度には58.80%と上昇。	高齢介護室
				(効果)	公共交通、公共施設の利用を促進し、外出支援することで、活動を促すきっかけとなり、健康増進につながる働きかけが出来た。	
9	障がい者就労支援センターの設置	くらしサポート課の無料職業紹介センターとくらしサポートセンターの2センターを令和4年度中に統合し「（仮称）くらし・しごとサポートセンター」を設置する。このセンターをベースに障がい者に対する就労支援を機能強化し、令和5年4月に障がい者就労支援センターを設置し、きめ細やかな就労支援を実施する。	○	(実績)	就労を希望する障がい者に対し必要な支援を行い、就労の機会の拡大を図り、障がい者が安心して働き続けられるよう支援することを目的とし、令和5年4月に障がい者就労支援センターを設置した。 令和5年度の利用者数50人の目標に対して74人を支援し、21人を就職させることができた。 令和6年度（令和6年12月末時点）では、利用者数は年間目標100人に対して87人、就職者数は年間目標30人に対して27人である。	障がい福祉課 くらしサポート課
				(効果)	利用者の状況に応じて職場見学・体験や職業紹介を行うことで、就職に繋げることができた。	

市長公約（４期目）総括

資料番号 2

公約達成の評価＝○（達成済）、△（一部達成）、×（未達成）

令和7年2月現在

項番	取組項目	取組内容	達成状況	総括		所管課
10	産婦健康診査の拡充	医療機関において、産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査（母体の身体的機能の回復や授乳状況及び精神状況の把握等）を実施する。産婦健康診査の結果は速やかに市に報告され、保健師による支援を開始する。健診等の結果、支援が必要と判断される産婦に対して産後ケア事業を実施する。	○	(実績)	令和3年度から産婦健康診査事業を開始。令和5年度には受診者数1,076人、受診率100%となった。	健康づくり推進室
				(効果)	産婦健診により支援が必要な産婦を把握し、支援したことにより産後うつ発症及び自死の予防につながった。	
11	外環沿道の土地利用整備計画を策定 （外環沿道の土地利用を促進）	大阪外環状線沿道における具体的な土地利用に向けて、地元住民の参画を得ながら、地域の現況や目指すべき地域の将来像について共有し、官民連携を図りつつまちづくり活動の活性化や民間事業者の参画誘導等に繋げるための計画策定をおこなう。	○	(実績)	令和4年度に地域との意見交換の場として大阪外環状線沿道まちづくり懇談会を設置。令和5年3月に「和泉市大阪外環状線沿道土地利用基本計画」を策定した。	都市政策室
				(効果)	地元住民の参画を得て、地域の現況や目指すべき地域の将来像などについて共有が図れた。	
12	和泉中央駅前広場および周辺整備の推進	近年の和泉中央周辺のまちなみ形成による交通課題（渋滞・事故）への対応とし、交通が輻輳する駅前広場の改修や、周辺道路の道路改良を行うとともに、市中央部の玄関口として利便性向上の観点から周辺案内サイン設置を行う。	○	(実績)	令和3年度に駅前広場改修及びいびき野大橋東交差点改良が完了、令和4年度に万町北交差点改良及び案内サイン設置が完了した。	都市整備室
				(効果)	駅前広場改修について、バスと一般車の通行分離による安全性向上及び一般車乗降場や案内サインの設置による利便性向上につながった。 交差点改良について、車線増設や拡幅、右折車線延伸により渋滞緩和につながった。	
13	新消防本部・和泉消防署の使用を開始	災害時に市民を支える防災拠点として十分機能できるよう、安全・安心な公共施設を整備する。 防災拠点として各署の適正配置や消防需要の増加、市民の利便性などを考慮し交通アクセスのより優れた場所へ移転し建替えることにより効果的、効率的な消防・救急活動を展開する。	○	(実績)	令和4年度から着工し、令和6年7月に竣工。12月1日より開庁した。	消防本部 総務課
				(効果)	和泉府中駅、和泉市役所とも近く利便性が向上し、隣接する2つの道路により効率的な出場が可能となり、迅速な対応に寄与するものである。	
14	水泳授業に民間活力を導入	子どもたちに命を守る泳力を付けるという目的のもと、実施してきた和泉市の水泳授業を、「安全性」、「快適性」、「専門性」の3つの観点でさらなる充実を図り、新しい水泳授業の展開を推進する。	○	(実績)	令和3年度より、小学校1校、中学校1校にてモデル事業を開始。 令和6年度までに、小学校15校、中学校1校で、民間屋内プールを導入。 全校導入までの公平性の担保のため、学校プール使用校にインストラクターを派遣した。 学校水泳屋内プール活用事業の年次計画を令和5年3月に策定、令和10年度までに全校導入完了予定。	学校教育室
				(効果)	天候に左右されず、通年での水泳授業の実施が可能となったとともに、監視員の配置、屋内プールによる清潔感・快適性など水泳環境が充実した。 資格を持ったインストラクターを派遣したことにより水泳指導が充実したとともに、水質管理、清掃、授業準備、片付け等の教職員の負担が軽減され、教員の働き方改革につながった。 また、学校プールの建替え、大規模改修等の維持管理費が不要となり、コストメリットも生じた。	

公約達成の評価＝○（達成済）、△（一部達成）、×（未達成）

令和7年2月現在

項番	取組項目	取組内容	達成状況	総括		所管課
15	学力テスト全教科で大阪府の平均以上	R6年度に実施される学力テスト全教科で大阪府の平均以上を獲得に向けて、以下の学力向上施策を展開する。 A）教育課程内の取組み【授業改善・授業力向上・学習支援】 ・デジタル採点分析システム、リーディングスキルテスト(RST)の導入 ・AIドリルの導入 など B）教育課程外の取組み【校内放課後、校外での学習支援】 ・いずみ希望塾の定員拡充（420名程度→850名） ・学力向上サポーター（小学校）、いずみ寺子屋リーダー（中学校）の派遣 ⇒ 希望塾の拡充時に施策転換 C）その他 ・(仮称)学力向上検討懇話会における有識者からの意見聴取による新たな学力向上施策	×	(実績)	デジタル採点分析システムの導入により、中学校教職員の採点業務の負担軽減を図りつつ、成績分析の支援が図られた。また、リーディングスキルテスト(RST)を実施し、基礎的読解力の向上につながる効果的な取組みを市内へ水平展開することができた。 AIドリルの導入により、一人ひとりに個別最適化された学習で、苦手な問題でつまずかずに基礎固めを行い、特に中学校において主体的・自律的な学習を促すことができた。 いずみ希望塾の定員拡充（420名程度→850名程度）により、受講を希望する児童生徒の多くが受講可能となり、家庭学習習慣の定着と基礎学力の向上につながった。	学校教育室
				(効果)	令和6年度全国学力・学習状況調査にて、小学校国語（対府比1.014）で大阪府の平均以上、小学校算数（対府比0.993）で大阪府と同等であったが、中学校国語（対府比0.939）・数学（対府比0.904）と大阪府平均を下回った。 小学校国語においては、結果につながったが、引き続き学力向上施策を展開し、特に中学校における学力向上をめざす必要がある。	
16	中学校の少人数数学級	原則、市内中学校および義務教育学校後期課程における通常の学級で、1学級あたりの生徒数が35人を超える学校を対象として、市費講師（任期付教育職員）を配置し、35人学級編制を実施し、「個に応じたきめ細かな指導」を充実させ、生徒の学力向上・規範意識の確立や豊かな心の育成をめざす。	○	(実績)	令和5年度に和泉市任期付市費負担教育職員を募集し7人採用。 令和6年度に該当する中学校（第1学年）7校に配置。 令和7年度には該当する中学校（第1学年、第2学年）、令和8年度は該当する中学校（全年）に拡充予定。	学校教育室
				(効果)	令和6年度は該当する中学校（第1学年）に配置したことにより、市内全ての中学校及び義務教育学校後期課程を35人学級とすることができ、細やかな指導を行うことができた。	
17	医療的ケア機能を備えた民間保育園の設置（医療的ケア機能を備えた保育施設の誘致を始める）	医療的ケア機能を備えた民間認定こども園を誘致し、職員体制や設備等の充実を図り医療的行為の範囲を拡大するとともに医療的ケア児への安全な保育を提供する。	○	(実績)	令和5年度に事業者選定委員会を開催し運営法人を決定、令和6年3月、8月に保護者説明会を行った。また、令和6年～令和7年の2か年事業による認定こども園の整備補助金を交付予定。令和7年7月より運営法人から園長候補、保育教諭（担任候補）を芦部保育園へ派遣し、引継ぎ保育実施予定。	こども未来室
				(効果)	施設設置により、医療的ケア児について、より積極的に保育の提供が可能となり、保育サービスを拡充することができる見込み。	
18	公共施設を活用した自習室の拡充	5月～8月、10月～2月の夏・冬休み、中間・期末テスト時期、入試時期に自習室の利用が特に集中するため、公共施設を活用して次のとおり自習室を拡充する。 また、現在自習室を設置していない南部リージョンセンターには、1階フロアの一角を衝立で仕切り、自習可能なスペースを設ける。 【和泉シティプラザ】 学習室5A・5Bいずれかを、5～8月、10～2月は夜間の時間帯に開室。7月・8月・1月・2月は、夜間に加えて、午後の時間帯も土曜日午後を除いて開室する。 【和泉図書館】 集会室1・2いずれかを、5～8月、10～2月の日曜・水曜・土曜の夜間に開室する。 【北部リージョンセンター】 2階会議室を7月・8月、12月～2月の土・日・祝日の午後の時間帯に開室する。	○	(実績)	令和4年度に、和泉シティプラザ及び和泉図書館において、自習室の利用が増加する時期（5月～8月、10月～2月）に、自習室の拡充を図った。また、南部リージョンセンターでは、常時利用できる自習室スペースを設置した。	生涯学習推進室
				(効果)	自習室アンケートで、「満席で利用できなかったことが頻繁にある」と回答した割合が、R3年度 24%と比較し、R4年度 6%、R5年度 15%となり、自習室利用者の満足度向上につながった。	

市長公約（４期目）総括

資料番号 2

公約達成の評価＝○（達成済）、△（一部達成）、×（未達成）

令和7年2月現在

項番	取組項目	取組内容	達成状況	総括		所管課
19	青少年の家をリニューアル	本市南部地域にある和泉市立青少年の家の主に閑散期（10月～2月）における施設活性化及び利用促進を図るため、施設改修や制度改正を行い、青少年の家をリニューアルする。	△	（実績）	当初は令和7年4月にリニューアルオープンを予定していたものの、基本計画策定途中であった令和5年度において、計画内容をさらに精査する必要性が生じたことから、リニューアルに向けたスケジュールの見直しを行い、令和8年6月オープン予定となった。 さらに、令和6年度において、「施設内で使用する水が不足する問題が発生したことを受けて、新たな給水方法の検討が必要になったこと」、「基本設計における概算事業費が想定以上に増大したこと」によって、さらにスケジュールの見直しを行い、リニューアルオープンの予定時期が、令和9年4月となった。リニューアルオープンに向け、令和6年度に基本設計及び実施設計を終え、令和7年度にリニューアル工事に着手した上で、令和9年4月にリニューアルオープン予定である。	生涯学習推進室
				（効果）	閑散期の利用者数の増加を目指して引き続き取組むとともに、周辺施設との連携を図ることにより南部地域の活性化の推進にもつなげる。	
20	市内に10のランニングコースを設置	市民だれもが気軽にスポーツを楽しめる環境を整えることで、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進を図るとともに、人と人との交流を促進し、希薄化する地域社会の再生に寄与することを目的に、市内に10のランニングコースを整備する。	○	（実績）	令和4年度に市内10カ所のランニングコース設定し、距離表示を設置した。令和4年度に完成を記念したランニングイベントを実施し、その後もランニング・ウォーキングイベントを毎年実施。 （ランニングコース） 1.池上曽根史跡公園 2.槇尾川公園 3.小田公園 4.いしたちはら公園 5.中央公園 6.光明池周回 7.光明池緑地公園 8.くすのき公園 9.つくしの公園 10.コスモ中央公園	生涯学習推進室
				（効果）	身近な場所で気軽にランニングできる環境を整えたことにより、スポーツ人口増加、健康増進に寄与した。	
21	アリーナ整備構想を策定 （アリーナ整備構想の検討を始める）	築45年が経過する市民体育館の移転建て替えにあたり、候補地に適した施設規模や機能などを検討し、体育館機能の拡充を図り観客席を設けたメインアリーナを核とした総合体育館構想を策定する。	○	（実績）	令和5年3月に策定した「和泉市生涯学習・スポーツ推進計画」の中で、アリーナ機能を備えた市民体育館を整備していくことを記載した。	生涯学習推進室
				（効果）	同計画の中で、アリーナに必要な機能・設備についてアンケート調査を行い、市民ニーズを把握。その結果、整備時期はまだ先になるものの、スポーツ普及・健康増進の寄与に期待される。	
22	北部総合スポーツセンターの計画策定	北部地域におけるスポーツ施設について、機能や規模などの調査研究を行い、北部総合スポーツセンターの計画を策定する。	○	（実績）	令和6年度～令和7年度において（仮称）北部総合スポーツセンター基本構想策定。（完成は令和7年秋頃）	政策企画室 生涯学習推進室
				（効果）	同構想を策定する中で、市民ニーズを把握のうえ、必要な機能・設備を整理している段階ではあるが、スポーツ普及・健康増進の寄与に期待される。	
23	グランドゴルフやフットサルを楽しめる（仮称）池上プレイステージの整備を始める（池上曽根史跡公園内）	グランドゴルフやフットサルを楽しめる（仮称）池上プレイステージの整備を始める。 令和8年（史跡指定50周年・公園開園25周年・市制施行70周年）のリニューアルオープンにむけ、4つの「ステージ」を整備し、「人びとが集う、憩う、学ぶ、そして育つ池上曽根遺跡」（保存活用計画基本理念）の実現を目指す。	△	（実績）	補助金の大幅カットにより、事業計画の見直しが必要となり、リニューアルフルオープンが令和11年度の予定となったが、令和3年度に再整備計画を策定、令和4年度に基本設計・実施設計を行い、令和5年度より整備工事に着手し、令和8年度の一部リニューアルオープンへ向けて事業を進捗。令和5年度は光明池水路の門型カルバート化のみにとどまったが、令和8年度に一部リニューアルオープン見込みである。	文化遺産活用課
				（効果）	史跡公園の来園者数の増加を目指して引き続き取り組む。	